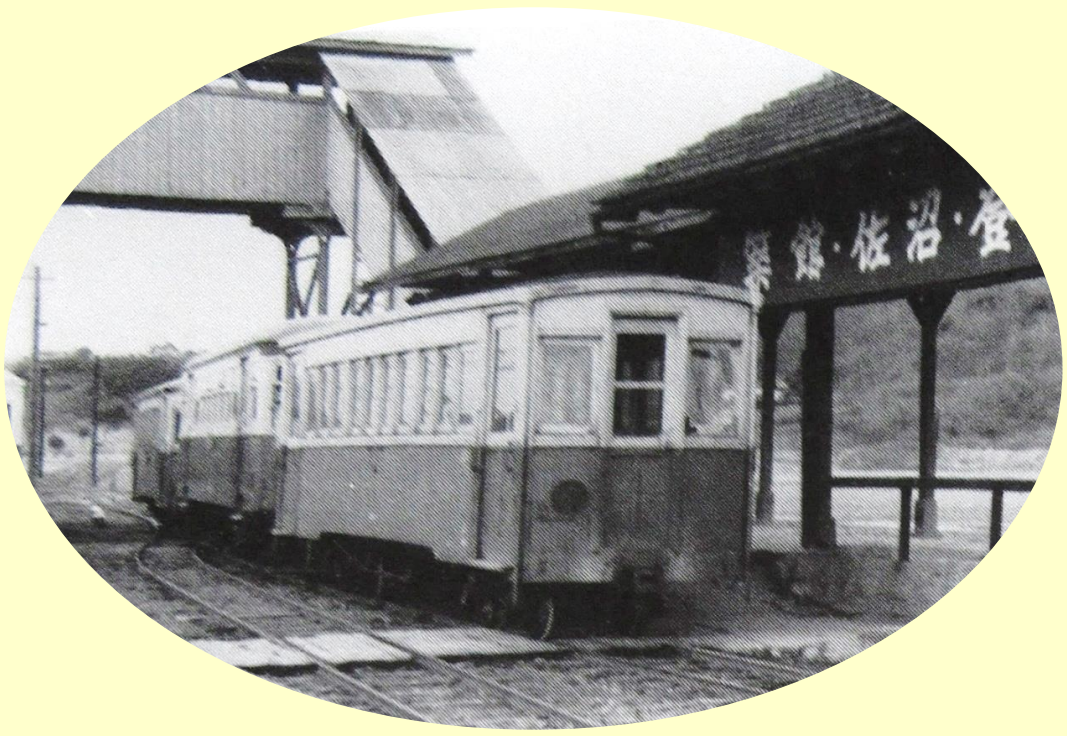
企画展「学童集団疎開から 80 年」

開催期間　令和 6 年 8 月 10 日(土)～
令和7年8月 31 日(日)

開催場所　教育資料館　2階沿革教室
登米市登米町寺池桜小路6番地

入館料　大人 400 円、高校生 300 円、
小・中学生 200 円

問合せ先　株式会社とよま振興公社
TEL　0220-52-5566

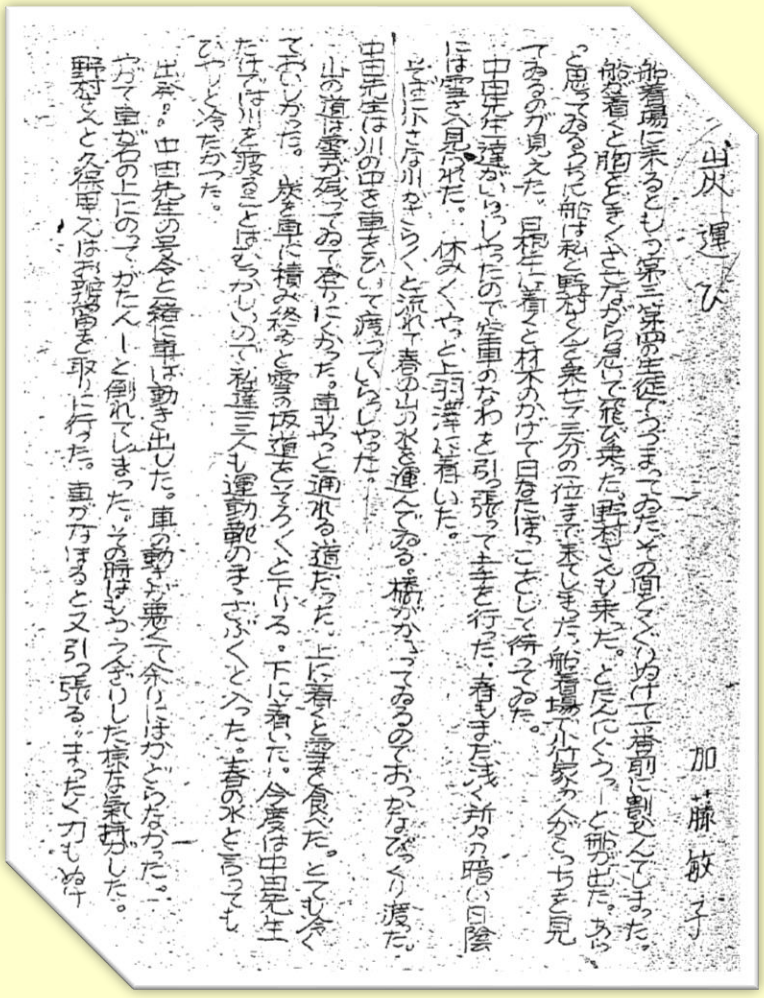


昭和19年6月30日、「学童疎開促進要綱」が閣議決定され、9月に杉並区立桃井第三・第四国民学校の児童が旧宮城県登米郡登米町・米谷町（現登米市）に学童集団疎開を行いました。

今年、学童疎開が行われてから80年となりますので、企画展「学童集団疎開から 80 年」を開催します。桃井第三・第四国民学校の児童は、昭和 20 年 11 月まで、親元を遠く離れた登米の地で、集団生活をすることとなりました。

この1年3ケ月間の生活の様子を当時の写真、日誌や文集などから振り返ってみます。

企画展は、令和６年中を前期、来年１月から４月までを中期、５月から８月までを後期として、展示品の一部を入れ替える予定としています。



出火運び

加藤敏子

船着場に来るともう第三第四の生徒でごったがえしていた。その間をくぐり抜けて一番前に割込んでしまった。船が着くと皆どきどきしながらもいそいで飛び乗った。野村さんも来た。とたんにくうっ—と船が出た。あっと思ってみるうちに船は私と野村さんと乗せて三分の二位まで来てしまった。船着場で小竹家の人がこっちを見てみるのが見えた。目的地に着くと材木のかげで白なにぼっこをじっと待っていた。

中田先生達がいらっしゃったので空車のなわを引っ張って本宅を行った。春もまだ浅く所々の暗い日陰には雪が見られた。休みくやっと上羽澤に着いた。

そこに小さな川がさらさらと流れて春の山の水を運んでいる。橋がかかっているのでおっかなびっくり渡った。中田先生は川の中を車をひいて渡っていらっしゃった。

山の道は雪が残っていて歩くにくかった。車ごと通れる道だった。上に着くと雪を食べた。とても冷くておいしかった。炭を車に積み終ると雪の坂道をそろそろと下りる。下に着いた。今度は中田先生だけでは川を渡ることはむずかしいので私達三人も運動部のまざぶくと入った。春の水と言ってもひやっと冷たかった。

出発。中田先生の号令と共に車は動き出した。車の動きが悪くて余りにはかどらなかった。やがて車が石の上にのってがたんーと倒れてしまった。その時はもうすっかりした様な気持がした。野村さんと久保田さんはお弁当を取りに行った。車がなおると又引っ張る。まったく力もぬけ